

一般社団法人 協力隊を育てる会

## 第 43 回通常総会

2018年5月30日(水) 於 日本青年館



# 第 43 回 通常総会

・・・・・・・・・・資料目次・・・・・・・・・・

## 第 43 回通常総会 報告書

2017 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2018 年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・	28
2018 年度収支予算・・・・・・・・・・・・・・・・	41

## 第 43 回通常総会 議案書

### 第 1 号議案

2017 年度決算承認の件・・・・・・・・・・・・・・・・	43
公益目的支出計画実施報告書・・・・・・・・・・・・	49
監事監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50

### 第 2 号議案

東日本大震災「小さなハート基金」に関する件・・・・・・・・	51
-------------------------------	----

### 第 3 号議案

外務大臣等への要望書に関する件・・・・・・・・・・・・	52
-----------------------------	----

### 第 4 号議案

役員に関する件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
-----------------------------	----

## 報告書目次

2017 年度役員、顧問・参与一覧	P4
2017 年度事業報告	P5
2018 年度事業計画	P28
2018 年度収支予算	P41

注 1：本冊子記載の所属・役職名等は実施当時のものであり、敬称略としております。

注 2：本冊子記載の青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア情報（帰国隊員を含む）は【氏名／派遣国／職種／隊次（西暦●●●●年度●次隊）】の順で表記しています。

注 3：本冊子では青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティアを【協力隊】と、また全国育てる会ならびに関係団体の名称を一部略して記載しております。

＜2017 年度役員一覧＞

1	会長	山本 保博	一般財団法人救急振興財団会長
2	副会長	山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事
3	副会長	水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
4	常任理事	松岡 和久	公益財団法人 CIESF 副理事長
5	常任理事	奥永眞智子	前一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
6	理事	明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
7	理事	岩田 公雄	ジャーナリスト、学習院大学特別客員教授
8	理事	大貫 康雄	公益社団法人自由報道協会代表理事
9	理事	澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会事務局長
10	理事	重 政子	認定 NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事
11	理事	神崎 清一	公益財団法人日本 YMCA 同盟総主事・代表理事
12	理事	杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
13	理事	土井 章	一般社団法人日本防災プラットフォーム常務理事兼事務局長
14	理事	鳥澤 文彦	日本青年団協議会事務局長
15	理事	山根木晴久	日本労働組合総連合会総合組織局総合局長
16	監事	白山 肇	大東文化大学非常勤講師、富山県青年海外協力隊を育てる会会長
17	監事	中村 義人	公認会計士、放送大学客員教授

＜2017 年度顧問・参与一覧＞

1	顧問	黒河内 康	元タンザニア、ナイジェリア、スイス大使
2	顧問	宮崎 幸雄	元公益財団法人ロータリー米山記念奨学会専務理事
3	顧問	大島 賢三	一般社団法人アフリカ協会理事長
4	顧問	足立 房夫	公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金顧問
5	参与	伊藤 隆文	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長
6	参与	大久保純夫	元一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
7	参与	小川 一成	茨城県青年海外協力隊を育てる会会長、茨城県議会議員
8	参与	高橋 成雄	NPO 法人地球緑化センター顧問
9	参与	谷川与志雄	元独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局次長
10	参与	吹浦 忠正	NPO 法人ユーラシア 21 研究所理事長
11	参与	森高 康行	愛媛県青年海外協力隊を育てる会理事、愛媛県議会議員
12	参与	横尾賢一郎	公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会上席執行役

# 2017年度事業報告

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

『協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき』をスローガンに掲げてスタートした山本会長体制も2年目を迎え、「協力隊事業を通じた人材育成」「全国育てる会との連携」「隊員と社会を繋ぐプラットフォームとしての役割」という3つの基本方針をベースに、徹底した実施体制のスマート化と原点に立ち返った従来活動の充実化という「選択と集中」の意志を持って、バランス運営の実践に取り組んで参りました。2017年度は、全国育てる会はじめ会員ならびに支援者の皆様のお力添えにより、「協力隊の応援団＝全国育てる会」の価値を更に向上させる第一歩を踏み出すことが出来ましたので、ここにご報告申し上げます。

## 1. JICA ボランティア事業を通じた人材育成

2年前から推進してきた「民間連携ボランティア制度」の理解促進セミナーは、全国育てる会はじめ青年会議所やライオンズクラブとの連携により、地域の大々的なイベントに進出するまでに至りました。また、次世代の人材育成に教員が果たす役割をあらためて重視し、教員の現職参加や帰国後の優先採用の制度創りについても、各地域の育てる会とともに始めました。そうした矢先に起こった「現職参加人件費補てん制度」の廃止決定は、制度活用や制定の「呼び水」を失う結果となり、残念ながら次年度以降の実施に大きな課題を残すこととなりました。

一方で、幼少期の体験が協力隊参加に如何に影響しているかを調査・分析・考察する取り組みが、(独) 国立青少年教育振興機構と(独) 国際協力機構青年海外協力隊事務局との三者で実施することが決まり、学術的な研究に関わるという新たな挑戦も始まっています。

## 2. 全国育てる会との連携

「情報と課題の共有」を目的に全国区にて開催されてきたブロック懇談会は、北陸に続き四国が自主開催を始める等、全国育てる会の主導で開催されるようになってきました。今年度は「北海道・東北・関東」「中国・近畿」という、今までにないブロックの組み合わせでも開催。新たな発想を持ち、(独) 国際協力機構青年海外協力隊事務局とパートナーシップを組みながら育てる会活動を展開することを確認しながら、全国組織としての絆を更に強める機会ともなりました。

## 3. 隊員と社会を繋ぐプラットフォームとしての役割

今年度で12年目となる「育てる会カレンダー」は、教育関連企業や青年会議所等でも継続購入が広がり、年内で完売するまでになりました。また、協力隊20周年を記念して始まった「視察の旅」は、SNS等の普及により参加者が激減するという厳しい状況が続いていたものの、地道にニーズを発掘してきめ細かい対応をとることで、前年度より参加者増という成果を挙げました。

新たな挑戦としては、協力隊50周年記念誌「持続する情熱」を全国の教育機関に配布する活動のラストステージとして、クラウドファンディングを実施。その結果、153名の賛同者からご寄付をいただき、目標を達成することが出来ました。

当会は、協力隊参加が次世代を担う若者にとって「人生の価値を高める活動」になるよう、全国育てる会とともに応援していく所存でございますので、会員ならびに支援者の皆様におかれましては、倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

### 重点活動

会員の拡大

教員の  
協力隊参加支援

OBOGと各県組  
織との連携強化

協力隊支援の  
充実化

財政基盤の強化

#### 理解促進事業

帰国報告会等の  
開催

「視察の旅」、ス  
タディツアー企画

「持続する情熱」  
等の書籍販売

カレンダーの  
制作・販売

カタログギフトの  
販売

帰国隊員の  
進路支援

各種イベント参加

#### 助成事業

小さなハート  
プロジェクト

小さなハート  
基金

帰国隊員/青年  
支援プロジェクト

馬場医療・福祉  
奨学金

地域の育てる会  
活動助成

#### 広報事業

育てる会ニュー  
スの編集発行

web・SNSによ  
る情報発信

#### 総務活動

各種会議・交流会  
等の開催

公的資格の取得

事務局移転準備

隊員向け  
ガイダンス等

#### 受託事業

「クロスロー  
ド」編集発行業  
務

帰国後事務手続  
き現職参加促進  
業務

国際協力レポー  
ター業務

# 2017年度事業報告

## 【重点事業】

### 1. 会員の拡大

■新たな繋がりを作るとともに育てる会活動の認知度を高め、会員拡大に繋げるよう取り組んだ。

#### 1) 隊員家族へのアピール強化と育てる会活動への参画呼びかけ

##### (1) 帰国報告会の開催

①名 称 : 「日本と世界のかけ橋になる」

日 時 : 5月24日(水) 16:50~18:10

場 所 : 東京グリーンパレス

概 要 : 帰国隊員等による講演会

参 加 : 100名

備 考 : 通常総会講演会として開催

##### ➢ 講演「病院で外国人の不安を無くすために」

講師: 新垣智子 (地方独立行政法人りんくう総合医療センター外来副看護師長、メキシコ/看護師/2001-8)

##### ➢ 講演「JOCVにもらった翼」

講師: ジギャン・クマル・タパ (公益財団法人かながわ国際交流財団職員、ネパール政府公式通訳者)

②名 称 : 「超高齢化社会を迎えた今、『高齢者介護』における帰国隊員の取り組み」

日 時 : 2018年1月25日(木) 16:00~18:00

場 所 : 日本青年館

概 要 : 帰国隊員等によるパネルディスカッション

参 加 : 100名

備 考 : 賀詞交歓会「新春の集い」講演会として開催

##### ➢ パネルディスカッション

講師: 中西敦士 (トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社 CEO、フィリピン/村落開発普及員/2010-4)、吉田奈穂子 (有限会社アオキトウワン、ガボン/村落開発普及員/2011-2)、木村あい (神戸女子大学健康福祉学部准教授、シリア/養護/2000-1)、山本保博 (一般社団法人協力隊を育てる会会長、曳舟病院院長)

#### (2) 会員・家族交流会「楽しく知る。ファンになる。JICA ボランティア FUN FAN 交流会」の開催

①日 時 : 5月14日(日) 10:30~12:30

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル

概 要 : 協力隊事業及び育てる会活動説明、BS 番組「いつか世界を変える力になる」上映、帰国隊員報告、懇談会

講 師 : 若穂井潤 (セネガル/村落開発普及員/2012-2)

参 加 : 45名 (2016-1~2017-1 家族、応募前~訓練前隊員)、大石事務局長、熊野職員、佐々木職員

- ②日 時 : 9月2日(土) 10:00~12:00  
 場 所 : JICA市ヶ谷ビル  
 概 要 : 協力隊事業及び育てる会活動説明、帰国隊員報告、懇談会  
 講 師 : 土井章(一般社団法人日本防災プラットフォーム事務局長、一般社団法人協力隊を育てる会理事、サモア/土木施工/1980-4)、佐々木惟(ガーナ/青少年活動/2014-4)  
 参 加 : 33名(2016-1~2017-2 家族)、奥永常任理事、藤澤職員
- ③日 時 : 3月17日(土) 10:00~12:30  
 場 所 : JICA市ヶ谷ビル  
 概 要 : 協力隊事業及び育てる会活動説明、視察の旅参加家族の報告、懇談会  
 講 師 : 廣木玲子(カメルーンコース参加者)、遠藤あけみ(千葉県海外協力隊を育てる会副会長、ホンジュラスコース参加者)  
 参 加 : 26名(2016-2~2017-3 家族、一般)、奥永常任理事、藤澤職員、熊野職員

## 2) 「内から外へ」役員ネットワークを通じた企業・団体訪問や異業種との積極的交流

### (1) 役員との企業・団体訪問

- ①日本たばこ産業株式会社  
 日 時 : 6月15日(木) 11:00~12:00  
 参 加 : 山本会長、大石事務局長  
 概 要 : 法人会員継続の依頼
- ②株式会社テルモ  
 日 時 : 7月4日(金) 14:00~15:00  
 参 加 : 山本会長、大石事務局長  
 概 要 : 法人会員入会の依頼
- ③株式会社読売新聞グループ本社  
 日 時 : 8月22日(火) 15:00~16:00  
 参 加 : 山本会長、大石事務局長  
 概 要 : 会活動への支援要請

### (2) 都内ライオンズクラブとの協働

- ①定例会合における協力隊関連情報の提供及び支援要請  
 日 時 : 毎月第3月曜日ほか  
 場 所 : 都内各所  
 参 加 : 伊藤次長
- ②小さなハートプロジェクトの広報及び支援要請  
 支援先 : 「こどもたちに夢と希望を! ナカラ市初のこども図書館設立」プロジェクト  
 支援者 : 東京光が丘ライオンズクラブ、都内ライオンズクラブメンバー  
 支援額 : 229,500円



③「東京日本橋ライオンズクラブ結成 60 周年記念 障がい者スポーツ支援シンポジウム & チャリティコンサート」への協力

主 催 : 東京日本橋ライオンズクラブ / 東京日本橋ライオンズクラブ立川福祉基金

日 時 : 6 月 23 日 (金) 18 : 30 ~ 20 : 30

場 所 : 日本橋公会堂

概 要 : 広報及び運営協力

参 加 : 足立顧問、伊藤次長

④「障がい者スポーツ支援 シンポジウム & チャリティコンサート」への協力

主 催 : 障がい者スポーツ支援チャリティコンサート実行委員会 / AYAKO

日 時 : 2018 年 3 月 19 日 (月) 18 : 20 ~ 20 : 40

場 所 : 銀座ライオン 6 階クラシックホール

概 要 : 広報及び運営協力

参 加 : 足立顧問、奥永常任理事、伊藤次長、熊野職員

【会員現況】

会員種別		2016 年度 (2017 年 3 月末)		2017 年度 (2018 年 3 月末)	
社 団	個人	519	(入会数 29)	418	(入会数 57)
	団体	106	(入会数 2)	104	(入会数 1)
	法人	30	(入会数 0)	31	(入会数 1)
	計	655	(入会数 31)	553	(入会数 59)
全 国	個人 / 団体 / 法人	3,452		3,361	

## 2. 教員の協力隊参加ならびに帰国後活動への支援

■全国育てる会と連携し、教員の協力隊参加を促進させるとともに参加希望者や OBOG のニーズや課題を把握し、貴重な経験を活かせるような仕組みづくりや支援策を検討した。

1) 育てる会や OB 会等による関連行事への参加と情報収集

(1) 広島県青年海外協力隊を育てる会及び JICA 中国との会合

日 時 : 6 月 10 日 (土) 16 : 30 ~

場 所 : ホテルセンチュリー 21 広島

参 加 : 上田みどり (広島県青年海外協力隊を育てる会会長)、池田修一 (JICA 中国所長)、松岡常任理事

概 要 : 広島県における教員特別採用枠の制定協力依頼

2) 帰国隊員や教育分野の関係者、有識者との意見交換と情報・課題の共有

(1) 帰国隊員に対する意識等の調査研究への協力

①調査協力研究者会議の結成

概要：協力隊参加への意思決定に係る幼少期体験の影響に関する調査・分析・考察

研究者：独立行政法人国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター、独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局、一般社団法人協力隊を育てる会

#### ②研究調査の打合せ及び協定締結

日時：6月26日（月）、7月25日（火）、9月4日（月）、9月25日（月）、10月30日（月）、11月13日（月）、11月27日（月）、12月18日（月）、2018年1月15日（月）

概要：1995年～2014年間に派遣または帰国した協力隊員約16,700名へのアンケート及びヒアリング調査の実施に係る打合せ及び業務協定の締結

参加：松岡常任理事、奥永常任理事、大石事務局長

締結者：明石要一（独立行政法人国立青少年教育振興機構理事／青少年教育研究センター長）、山本美香（独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長）、大石精一（一般社団法人協力隊を育てる会事務局長）

#### ③調査の実施

開始：2018年3月31日（土）にアンケート発送

概要：1995年～2014年間に派遣または帰国した協力隊員約16,700名へのアンケートの送付及びヒアリング

### 3. 地方創生に向けた帰国隊員ネットワークと全国育てる会との連携強化

---

■地域で活躍する帰国隊員と全国育てる会のネットワークを繋げ、育てる会ならではの地方創生モデルの構築について情報収集等を行った。

1) 「日本も元気にする青年海外協力隊OB会」や育てる会等による関連行事等への参加と情報収集

(1) 「日本も元気にする青年海外協力隊OB会」活動報告会への参加

日時：5月27日（土）16:10～20:00

場所：JICA市ヶ谷ビル

参加：滝澤編集長

2) 帰国隊員ネットワークによるイベント等への参加促進及び広報協力

(1) 「地域づくりの現場訪問～ホンモノの『ムラの魅力』と出会う、日本一の隠れ里・熊本県人吉球磨地方編」

主催：日本も元気にする青年海外協力隊OB会／熊本県青年海外協力協会

日時：11月4日（土）～5日（日）

場所：熊本県人吉球磨地方

概要：農村部における地域づくりのワークショップ等

(2) 帰国隊員によるシンポジウムへの参加促進及び広報協力

(1) 「第1回全国OV教員・教育研究シンポジウム」

主催：独立行政法人国際協力機構、全国OV教員・教育研究会

日 時 : 12月23日(土) 10:00~17:00

場 所 : 京都市立二条北小学校

概 要 : 協力隊経験を持つ教員の社会還元方法に関するディスカッション等

#### 4. 育てる会による協力隊支援の充実化

---

■全国育てる会と連携し、各地域の特性を活かしながら各事業や諸活動の充実化を図るとともに、育てる会としての支援活動について検討を行った。

1) 全国育てる会の意見交換と情報・課題の共有を目的としたブロック懇談会の開催及び参加

(1) 北陸ブロック会議

幹 事 : 富山県青年海外協力隊を育てる会

日 時 : 9月2日(土) 13:00~17:00

場 所 : 富山市民国際交流センター会議室

参 加 : 3県組織、富山県OB会、JICA北陸、伊藤次長(総勢20名)

備 考 : 北陸ブロックによる自主開催

(2) 北海道・東北・関東ブロック懇談会

幹 事 : 協力隊を支援するやまがた地球家族の会、一般社団法人協力隊を育てる会

日 時 : 10月28日(土) 13:00~17:00

場 所 : 山形グランドホテル

参 加 : 15県組織、JICA東北、JICA青年海外協力隊事務局、山形県青年海外協力協会、足立顧問、奥永常任理事、伊藤次長(総勢28名)

(3) 中国・近畿ブロック懇談会

幹 事 : 広島県青年海外協力隊を育てる会、一般社団法人協力隊を育てる会

日 時 : 12月9日(金) 13:00~17:00

場 所 : リーガロイヤルホテル広島

参 加 : 11県組織、JICA中国、JICA関西、JICA青年海外協力隊事務局、足立顧問、伊藤次長(総勢27名)

2) 民間連携ボランティア制度や現職参加等、JICAボランティア理解事業促進セミナーの開催

(1) フォーラム SKK'89

主 催 : 公益社団法人世田谷工業振興協会、東京商工会議所世田谷支部

概 要 : 協力隊事業・民連ボ制度の概要説明、事例紹介等

日 時 : 7月4日(火) 18:30~20:00

場 所 : 世田谷産業プラザ2階公社役員会議室

参 加 : 世田谷区内の中小企業経営者15名、奥永常任理事、伊藤次長

(2) 九州コンファレンス 2017in 久留米 グローバルリーダー育成フォーラム

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会

概 要 : 有識者と制度活用企業による対談、ブース出展

講 師 : 岩田公雄 (ジャーナリスト、一般社団法人協力隊を育てる会理事)  
小川寛 (株式会社小川工務店代表取締役、ケニア/建築/1985-2)  
日 時 : 8月26日 (土) 15:00~16:30 ※ブース出展は25日 (金) ~27日 (日)  
場 所 : 久留米シティプラザ  
参 加 : 九州地区の青年会議所メンバー、シニアクラブメンバー等 220名、奥永常任理事、  
伊藤次長

(3) 2018年度京都会議

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所  
概 要 : 協力隊事業・民連ボ制度の概要説明、相談受付、事例紹介、ブース出展  
日 時 : 2018年1月19日 (金) ~21日 (日) 10:00~16:30  
場 所 : 国立京都国際会館  
参 加 : 全国青年会議所メンバー等約 50名、奥永常任理事、伊藤次長

(4) 陸中宮古ライオンズクラブ第 826 回定例会

主 催 : 陸中宮古ライオンズクラブ  
概 要 : 協力隊事業・民連ボ制度の概要説明、事例紹介等  
日 時 : 2018年3月14日 (水) 18:30~20:00  
場 所 : ホテル沢田屋  
参 加 : ライオンズクラブ会員等約 20名、伊藤次長

(5) 下関西ライオンズクラブ第 1297 回定例会

主 催 : 下関西ライオンズクラブ  
概 要 : 協力隊事業・民連ボ制度の概要説明、事例紹介等  
日 時 : 2018年3月16日 (金) 19:00~20:30  
場 所 : シーモールパレス  
参 加 : ライオンズクラブ会員等約 30名、伊藤次長

(6) 社員向け朝活夜活イベント「SNACK」

主 催 : 株式会社三越伊勢丹ホールディングス人財本部  
概 要 : 帰国隊員報告、協力隊事業・民連ボ制度の概要説明、相談受付  
講 師 : 竹田佳代 (株式会社リコー、キルギス/コミュニティ開発/2014-2)  
日 時 : 2018年3月23日 (金) 19:30~20:30  
場 所 : 日本橋三越本店新館 12 階  
参 加 : 当該社員等 18名、奥永常任理事、伊藤次長

(7) 「人材リソースとしての青年海外協力隊」

主 催 : 瀬戸商工会議所メンバー他  
概 要 : 協力隊事業・民連ボ制度の概要説明、事例紹介等  
日 時 : 2018年3月26日 (月) 14:00~15:00  
場 所 : 瀬戸商工会議所  
参 加 : 商工会議所メンバー等 15名、伊藤次長

### 3) 各県組織活動のフォローアップ

#### (1) JICA 海外ボランティアひょうご応援団

##### ➤事務局充実化に向けた役員との会合

日 時 : 6月9日(金) 13:00~14:00

場 所 : JICA 関西

参 加 : 齋藤富雄 (JICA 海外ボランティアひょうご応援団会長)、JICA 関西、足立顧問、伊藤次長

##### ➤事務局運営サイドとの打合せ

日 時 : 9月4日(月)、2018年2月1日(木)、2月23日(金)

場 所 : 公益財団法人兵庫県国際交流協会 (HIA) 及び育てる会事務局

参 加 : HIA 役職員、奥永常任理事、大石事務局長、伊藤次長、藤澤職員

#### (2) 大分県協力隊を育てる会

##### ➤活動活性化に向けた現地支援者との会合

日 時 : 10月6日(金)~7日(土)

場 所 : 大分市内

参 加 : 大分県内の青年会議所メンバー、足立顧問、水野副会長、伊藤次長

#### (3) 全国育てる会

##### ➤要望に応じて以下を適宜実施

①派遣条例・特別採用等制定に向けた事例紹介と資料提供等

②教育委員会における特別参加促進に向けた事例紹介と資料提供等

③現職参加促進に向けた事例紹介と資料提供等

④民間連携ボランティア制度の活用促進に向けた事例紹介と資料提供等

⑤総会開催に係る資料作成及び事務手続き等の事例紹介と資料提供等

⑥会員管理をはじめとする事務局運営業務の事例紹介と資料提供等

##### ➤メーリングリストによる情報共有

①ボランティア派遣現況(毎月)

②その他(随時)

事 例 : 全国育てる会の実施するイベント情報、全国育てる会役員等の慶弔情報、会議開催のご案内、JICA 関連情報、協力隊や帰国隊員の TV 放映情報や新聞記事等

### 4) 各種会合等への参加

#### (1) 総会

	組織名	開催内容	開催日	出席者
1	青年海外協力隊とちぎ応援団	総会・帰国報告会	5月13日(土)	奥永常任理事
2	京都府 JICA ボランティア応援団	総会・帰国報告会	5月19日(金)	足立顧問
3	奈良 JICA ボランティア応援団	総会・帰国報告会	5月19日(金)	伊藤次長

	組織名	開催内容	開催日	出席者
4	埼玉国際青年を育てる会	総会・帰国報告会	5月27日 (土)	大石事務局長
5	茨城県青年海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	5月28日 (日)	奥永常任理事
6	JICA ボランティアを支援するいわての会	総会・帰国報告会	6月3日 (土)	奥永常任理事
7	千葉県海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	6月4日 (日)	大石事務局長
8	(一社) 青年海外協力隊プラザ・大阪	総会・帰国報告会	6月9日 (金)	足立顧問
9	広島県青年海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	6月10日 (土)	松岡常任理事
10	(公社) 青年海外協力協会	総会・現場視察会	6月18日 (日)	松岡常任理事
11	群馬県青年海外協力隊を育てる会	総会・帰国報告会	6月23日 (金)	奥永常任理事
12	鹿児島県青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	6月23日 (金)	松岡常任理事
13	愛知県青年海外協力隊を支援する会	総会・帰国報告会	6月24日 (土)	松岡常任理事
14	青年海外協力隊神奈川県 OB 会	総会・講演会	6月24日 (土)	奥永常任理事
15	JICA 海外ボランティアひょうご応援団	総会・講演会	3月3日 (土)	伊藤次長

## (2) 記念式典及びイベント

### ①静岡県ボランティア協会 40 周年記念式典

日 時 : 6月18日 (日) 13:30~18:30

場 所 : 社会福祉会館クーポール会館

参 加 : 足立顧問 (総勢 100 名)

### ②井上俊吾氏「協力隊を育てる会」表彰記念祝賀会

日 時 : 8月1日 (火) 19:00~21:00

場 所 : 阿波観光ホテル

参 加 : 山本会長 (総勢 100 名)

### ③宮崎県青年海外協力隊を支援する会設立 20 周年記念式典

日 時 : 11月18日 (土) 14:40~19:30

場 所 : ウェルシティ宮崎

参 加 : 松岡常任理事 (総勢 70 名)

### ④地域企業の「底力」拡充に向けた JICA 施策の活用に関する情報交換会

日 時 : 11月20日 (月) 14:00~16:00

場 所 : 株式会社山形県 JA ビジネスビル

参 加 : 大石事務局長 (総勢 30 名)

## 5) 慶弔

### (1) 受賞

- ①京都府 JICA ボランティア応援団顧問・立石義雄（京都商工会議所会頭）  
旭日重光章
- ②JICA 海外ボランティアひょうご応援団理事・高野幸二郎（元フィリピン大使）  
瑞宝重光章
- ③福島県青年海外協力隊を支援する会常務理事・荒証文（マレーシア／バスケット／1969-2）  
瑞宝小綬章
- ④京都府 JICA ボランティア応援団副会長・内田隆（京都青果合同株式会社代表取締役社長）  
黄綬褒章
- ⑤青年海外協力隊とちぎ応援団  
第 13 回 JICA 理事長表彰（国際協力感謝賞／団体）
- ⑥愛知県青年海外協力隊を支援する会  
第 13 回 JICA 理事長表彰（国際協力感謝賞／団体）

(2) 訃報

- ①にいがた青年海外協力隊を育てる会理事・設立発起人  
楚山恭男（楚山接骨院代表、ケニア／柔道／1977-2）6月26日（月）
- ②にいがた青年海外協力隊を育てる会理事・設立発起人  
広川俊男（新潟産業大学副学長、コスタリカ／水泳／1974-1）9月4日（月）
- ③JICA ボランティアを支援するいわての会会長  
藤井克己（元岩手大学学長、公益財団法人いわて産業振興センター顧問）9月14日（木）
- ④元一般社団法人協力隊を育てる会参与  
祐成善次（元社団法人日本青年奉仕協会会長）2018年2月17日（土）

6) 会長等の交代

<全国育てる会会長の交代>

	組織名	前任	新任・役職名等
1	にほんまつ 地球市民の会	新野 洋	三保恵一 二本松市長
2	石川県 青年海外協力隊を支援する会	北川義信	吉光武志 一般社団法人石川県建設業協会会長
3	駒ヶ根 協力隊を育てる会	高坂 保	有賀秀樹 夢倶楽部しらかば信州カウンセリングセンター副所長
4	香川県 青年海外協力隊を育てる会	竹崎克彦	渡邊智樹 株式会社百十四銀行会長

<全国育てる会事務局長の交代>

	組織名	前任	新任・役職名等
1	わかやま JICA ボランティア応援団	中島紀生	堀 寿恭 公益財団法人和歌山県国際交流協会常務理事
2	広島県 青年海外協力隊を育てる会	榎本伸悦	佐藤 均 一般財団法人広島県環境保健協会理事長

## 5. 財政基盤の強化

■ 育てる会活動を安定的に実施するため、継続性のある収益の確保と財源の調達を目指した。

### 1) 育てる会の専門性と独自性を活かせる業務の受託

#### (1) JICA 事業への新規入札

事業名称：ブータン国人材育成奨学計画協力準備調査

東ティモール国人材育成奨学計画協力準備調査

業務内容：両国の人材育成を目的とした国内大学院における学位取得支援のニーズ調査・分析、実施体制の検討および留学生受け入れ計画の策定

実施体制：株式会社シー・ディー・シー・インターナショナルとの共同企業体（JV）結成

入札結果：失注

#### (2) 既存事業の契約変更

事業名称：2015～2017 年度 JICA ボランティア帰国情報／事務管理・現職参加促進支援業務

変更部分：「現職参加促進支援業務」

変更内容：「民間連携ボランティア制度」理解促進セミナーの拡充

変更前～年 4 回実施／首都圏 2 回と地方主要都市圏 2 回（中部・近畿）

変更後～年 7 回実施／首都圏 2 回と地方都市 5 回（東北・近畿・中国等）

契約変更：1,757,000 円（税込 1,897,560 円）を追加

#### (3) 既存事業の契約延長

①事業名称：2015～2017 年度 JICA ボランティア帰国情報／事務管理・現職参加促進支援業務

延長期間：2018 年 6 月 30 日（土）まで

②事業名称：2015～2017年度JICAボランティアに対する情報支援ツール「クロスロード」編集・発行業務委託

延長期間：2018 年 9 月 30 日（日）まで

### 【理解促進事業】

#### 1) 「視察の旅」の企画・実施

隊員家族や関係者を中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げる機会として企画・実施した。

企 画：アフリカ・中南米等 24 ヶ国

実 績：10 ヶ国 77 名

	地域	国	期間	参加者数
1	アフリカ	ガーナ	11月8日（水）～11月17日（金）	4名
2		カメルーン	11月8日（水）～11月17日（金）	7名
3		ナミビア	11月22日（水）～12月2日（土）	3名
4		マラウイ	11月22日（水）～12月2日（土）	10名
5		エチオピア	11月29日（水）～12月8日（金）	7名



	地域	国	期間	参加者数
6	アフリカ	ベナン	2018年2月18日(日)～2月25日(日)	18名
7		セネガル	2018年2月20日(火)～3月1日(木)	9名
8	中南米	パラグアイ	11月15日(水)～11月24日(金)	5名
9		ホンジュラス	11月15日(水)～11月24日(金)	5名
10		ニカラグア	2018年2月7日(水)～2月16日(金)	9名

## 2) スタディツアーの企画・実施協力

一般市民を対象に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに支援の輪を広げる機会として、全国育てる会の主催するスタディツアーの広報協力を行った。

### (1) 全国育てる会主催スタディツアーの実施支援

- ①大阪組織企画への広報協力＝10月1日(日)～7日(土) /ウズベキスタン訪問
- ②愛媛組織企画への広報協力＝2018年5月12日(土)～17日(木) /スリランカ訪問

## 3) 「持続する情熱」「青年海外協力隊の軌跡と展望～世界を翔ける日本青年の素顔～」の拡販

役員ならびに全国育てる会のネットワークを通じて、青年海外協力隊発足50周年記念に当会が編集協力した書籍を協力隊事業の広報ツールとして販売するとともに、支援者を発掘し教育機関や図書館等への寄贈活動を行った。

### (1) クラウドファンディング「青年海外協力隊50周年記念誌を母校にプレゼントしよう！」の実施

期 間 : 2018年2月1日(木)～3月12日(月)

運 営 : READYFOR 株式会社

コース : 1,000円 / 5,000円 / 10,000円 / 50,000円 / 100,000円の5コース

リターン : グアテマラ「マヤの織物カード」、webへの芳名掲載、GLOBAL SPROUT

結 果 : 目標達成 1,591,000円 (目標額 1,000,000円)

支援者 : 153名

配布数 : 308冊

## 4) 育てる会カレンダーの制作・販売

派遣中隊員及び帰国隊員から提供される写真を使用し、途上国や協力隊事業の理解促進、全国の育てる会活動の広報ツール、学校・企業のSDGsツールとして制作・販売した。

テーマ : 宝物 —JICA ボランティアとSDGs—

仕 様 : A4横 / フルカラー / 14枚綴り (28P) / オリジナル名入れ・メッセージ印字

作 成 : 初刷 11,000部 + 増刷 1,200部 計 12,200部

価 格 : 1部 1,000円 (税込み / 会員は 700円 / 3部以上購入の場合は 1部 500円)

売 上 : 5,149,737円 (完売)

## 5) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

帰国隊員が生産する食品や雑貨等の商品情報をまとめ、Web等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売した。

コース : 3,780円(スプラウトコース) / 5,940円(リーフコース)

売上 : 1,273,606円(スプラウトコース142個/リーフコース122個)

## 6) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学、結婚等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行った。

### (1) 就職・進学等の支援

相談件数 : 12件

### (2) 婚活イベントの開催

事業名 : 「金太郎伝説の残る箱根・金時山へ登ろう！」

協力 : 湘南ホノルルマラソンクラブ

日時 : 5月20日(日) 9:00~16:00

場所 : 金時山

概要 : ハイキング

参加 : 帰国隊員等21名、奥永常任理事、藤澤職員

## 7) 各種イベントへの参加

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、各種イベントに参加しカレンダーや帰国隊員が生産する雑貨、「持続する情熱」等書籍の販売を行った。

### (1) 協力隊まつり2017

主催 : 協力隊まつり実行委員会

日時 : 4月23日(日) 10:00~17:00

場所 : JICA市ヶ谷ビル

概要 : 帰国隊員による特産品販売、記念誌販売、JICAボランティア春募集広報

参加 : 藤澤職員、熊野職員

### (2) 第88回メーデー中央大会

主催 : 第88回メーデー中央実行委員会

日時 : 4月29日(土) 10:00~14:30

場所 : 代々木公園

概要 : 帰国隊員による特産品販売、民族衣装着付け、JICAボランティア春募集広報

参加 : 竹田佳代(キルギス/コミュニティ開発/2014-2)、大石事務局長、藤澤職員、内島職員

### (3) グローバルフェスタ2017

主催 : グローバルフェスタ実行委員会

日 時 : 9月30日(土)～10月1日(日) 10:00～17:00

場 所 : お台場センタープロムナード

概 要 : カレンダー、帰国隊員による特産品販売、JICA ボランティア秋募集相談

参 加 : 竹田佳代(キルギス/コミュニティ開発/2014-2)、奥永常任理事、大石事務局長、藤澤職員、内島職員、熊野職員

#### (4) SEISA Asia Africa Bridge

主 催 : 公益財団法人世界こども財団

日 時 : 11月11日(土)～12日(日) 10:00～16:00

場 所 : 星槎中学高等学校

概 要 : カレンダー、帰国隊員による特産品販売

参 加 : 佐藤奈保子(バングラデシュ/手工芸/1986-3)、奥永常任理事

### 【助成事業】

#### 1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援した。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運の向上に努めた。

支援金額 : 1件につき上限 300,000 円

審査選考 : 適宜

審査委員 : 支援委員長 = 松岡常任理事、支援委員 = 岩田理事、澤田理事、土井理事、鳥澤理事

支援状況 : 5件

規程改訂 : 支援対象者を「青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティア」と明記

#### <申請一覧>

	氏名 (出身)	派遣国 職種 隊次	プロジェクト名	支援額	支援者
1	藤田絵美子 (埼玉県)	モザンビーク 行政サービス 2015-4	こどもたちに夢と希望を！ ナカラ市初のこども図書館設立	269,500 円	東京光が丘ライオンズクラブ、埼玉育てる会他
2	服部真夕 (愛知県)	ザンビア 小学校教育 2015-3	子どもあふれる学校に安全で体育 ができる遊び場を！ 遊具建設プロジェクト	179,452 円	愛知県支援する会、 新渡戸文化小学校 父母会
3	吉原伸彦 (福岡県)	ウガンダ 青少年活動 2016-3	雨が降っても授業を受けたい！ 小学校に屋根を！ 屋根建設プロジェクト	198,486 円	電力総連
4	田仲永和 (千葉県)	マラウイ 小学校教育 2017-1	ムクンダ村ラーニングセンター建 設プロジェクト～小学校のドロッ プアウトから子どもを救う～	270,000 円	株式会社リコー、千 葉県育てる会、千葉 県 OB 会
5	小森田渚 (熊本県)	モザンビーク コミュニティ開発 2016-2	誰もが憩え、学べる小さな教室を 作ろう！	270,000 円	調整中

## 2) 東日本大震災「小さなハート基金」

東日本大震災の復興支援活動への支援を目的に 2011 年より開始した事業だが、当初目的を達成したため、公益目的事業としては今年度で終了することを決定した。

## 3) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援した。

支援金額：1 件につき上限 500,000 円

支援総額：2,700,000 円

募集期間：7 月 1 日（土）～8 月 31 日（木）

募集結果：申請数 24 件（協力活動 4 件 / 調査研究 20 件）

審査選考：10 月 11 日（水）に選考委員会を開催

審査委員：審査委員長＝松岡常任理事、審査委員＝小沢良明（公益財団法人三菱 UFJ 国際財団専務理事）、徳橋和彦（JICA 青年海外協力隊事務局審議役）、岩田理事、澤田理事、土井理事、小川参与

審査結果：9 件への支援決定（協力活動 3 件 / 調査研究 6 件）

### <協力活動>

	受給者名 派遣国等	活動名称	活動地域
1	伊原真央 (ボリビア / 小学校教育 / 2013-1)	ボリビアの子どもたちの基礎学力定着を目指した教員の指導力・授業力向上プロジェクト	ボリビア
2	小柳真裕 (カンボジア / 青少年活動 / 2014-1)	ポーサット州における幼児教育サポート（移動図書・おもちゃ館）	カンボジア
3	巢内秀太郎 (ケニア / プログラムオフィサー / 2011-4)	ホマベイ郡ピタ準郡におけるエイズ孤児と保護者に対するライフプランニング支援事業	ケニア

### <調査研究>

	受給者名 派遣国等	活動名称	活動地域
1	猪狩友美 (ベナン / 村落開発普及員 / 2008-1)	ベナンにおけるブルーリ潰瘍患者 / 保護者の治療希求家庭と決定要因についての研究	ベナン
2	小笠原佑吏 (ガーナ / 助産師 / 2014-1)	ターラック州における完全募集育児に影響を及ぼす要因の検討	フィリピン
3	佐藤千歳 (モザンビーク / 臨床検査技師 / 2005-1)	紙幣の病原性かつ薬剤耐性菌及び水系微生物の探索を目的とした協力隊、OB 及び大学との多方面連携	ホンジュラス
4	土谷ちひろ (ソロモン / 看護師 / 2012-1)	ソロモン諸島首都での栄養教室と生活慣習の変容についての研究	ソロモン

	受給者名 派遣国等	活動名称	活動地域
5	永谷紫織 (ラオス/助産師/2014-1)	妊婦検診の受診回数と低出生体重児の 関連	ラオス
6	美藤ゆかり (ラオス/助産師/2012-2)	ビエンチャン特別市における妊婦の体 重管理の現状～自己申告と妊娠第1期 に計測した身長・体重の比較～	ラオス

#### 4) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象とし、返済義務を付した奨学金を給付し支援した。

支援金額：1件につき上限500,000円

支援総額：500,000円

募集期間：7月1日(土)～8月31日(木)

募集結果：申請数1件

審査選考：帰国隊員/青年支援プロジェクトの審査選考と併せて10月11日(水)に実施

審査委員：審査委員長=松岡常任理事、岩田理事、澤田理事、土井理事、小川参与

審査結果：1件への支援決定

	受給者名 派遣国等	就学先	修了予定
1	年野朋美 (インドネシア/保健師/2014-1)	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 フロンティア医科学専攻 公衆衛生プログラム	2019年3月

#### 5) 地域の育てる会活動助成

全国育てる会が各地域にて実施する協力隊事業の理解促進をはじめとする諸活動に対し、助成金を給付した。

支援金額：1組織につき上限80,000円

給付時期：2018年4月初旬

給付総額：3,249,000円

給付件数：44組織

### 【広報事業】

#### 1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介した。

発行数：約7,000部/月

仕様：モノクロ/タブロイド版/4ページ

構成：1面～最新トピックス/2面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

## 2) ニュースレターの配信

既存の紙媒体では伝えきれない、SNSで拡散されている協力隊や育てる会、JICA関連のホットな情報を取りまとめ、「新たな会員特典」として毎月発信した。

対 象 : 社団会員(役員/各県事務局含む) 約 400 件

配 信 : 毎月 15～20 日頃/1 回

内 容 : 派遣中隊員や帰国隊員、育てる会活動や JICA 全体、OB 会等に関する各種情報

<事例：第 12 号/3 月 20 日(火) 配信の主な内容>

### 【予告】

- 3/25(日) 人気俳優・斎藤工が訓練中の隊員とパラグアイで活動中の隊員を訪問する TV 番組「いつか世界を変える力になる 第二部」OA 決定!
- 4/4(水)、4/14(土)「激アツ! 国際協力シゴト人」JICA 横浜での企画展示にて JICA ボランティアの何でも相談会開催
- 4/7(土) 愛知県青年海外協力隊を支援する会主催セミナー「協力隊 OB/OG を通して知るナルホド国際協力(第 1 回: NGO 活動)」開催!
- 4/7(土) コメディーパーフォーマンスグループ「3 ガガヘッズ」と協力隊のコラボイベント開催
- 4/22(日)「協力隊まつり 2018」に参加、JICA 地球ひろば 2 階にて出展!
- 5月上旬日程発表予定、2018 年度「現地視察の旅」、アフリカ・中南米を中心に企画!
- 5/31(木)まで 2019 年版カレンダー写真募集中! テーマは「WA」、詳細近日公開予定!

### 【報告】

- サポーター宣言掲載中! 「一般社団法人防災プラットフォーム～協力隊経験者と一緒に防災の主流化に取り組んでいきたい～」(3/1)
- 協力隊活動他、ガーナの ODA 視察の様子をまとめた「国際協力レポート 2017 報告書」が掲載されました!(3/8)
- 動画「民間連携ボランティア 2018」シリーズ、vol.6 まで公開中!(3/13)
- 現職参加に対する人件費補てん制度の見直しについて公表されました(3/15)

## 3) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信した。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報(告知および報告等)の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

## 4) メールングリストによる情報提供

帰国間もない隊員を中心に、育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信した。

対 象 : 帰国隊員 1,000～3,000 件

配 信 : 適宜

内 容 : カレンダー写真募集、イベント案内、求人等

## <メール配信の主な内容>

- 2018年版カレンダー写真募集のお知らせ(4/4~6、4/20、5/19 配信)
- 5/13(土)ハイキング婚活のお知らせ(4/9 配信)
- 「アジア社会起業家育成塾」塾生募集のご案内(7/14 配信)
- 「帰国隊員/青年支援プロジェクト」及び「馬場医療・福祉奨学金」の募集開始について(7/6 配信)
- 帰国隊員の皆さまへ求人情報のお知らせ/福祉法人・NPO(8/16、10/31 配信)
- 帰国隊員の皆さまへセミナーと求人情報のお知らせ/福祉法人・公益法人(11/16、11/28 配信)
- ウンのつく話で2018年をカイチョウに!1/25(木)新春のつどいのご案内(1/25 配信)
- クラウドファンディング「青年海外協力隊50周年記念誌を母校にプレゼントしよう!」/ (一社)協力隊を育てる会(2/1、2/6、2/23、3/6、3/9、3/13、3/15 配信)
- 帰国隊員の皆さまへ求人情報のお知らせ/社会福祉法人(2/5 配信)
- 帰国隊員の皆さまへ求人情報のお知らせ/NPO(2/27 配信)
- 帰国隊員の皆さまへ求人情報のお知らせ/公益法人(3/20、3/28)

### 5) 隊員活動の広報支援

関係団体の広報媒体と帰国隊員を繋ぎ、協力隊事業の理解促進を目的とした広報記事作成を支援した。

#### (1) FEC NEWS

発行元 : 民間外交推進協会

発行 : 月1回

内容 : 帰国隊員による現地の活動や生活、参加を通じて得られたこと等についての寄稿

## 【受託事業】

### 1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務遂行するとともに、契約更新・再受託に向けた諸準備を進めた。

#### (1) 2015~2017年度JICAボランティアに対する情報支援ツール「クロスロード」編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集発行(年15号/増刊3号含む)

契約 : 2015年度~2017年度(3年間)

概要 : 増刊3号を含む年15号の企画・取材・編集

#### (2) 2015~2017年度JICAボランティア帰国情報/事務管理・現職参加促進支援業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 各種証明書発行やデータ整備等の事務手続き、現職参加の促進・調査・相談等

契約 : 2015年度~2017年度(3年間)

概要 : 教育訓練手当等の各種支援制度、国連ボランティア推薦の受付対応及び事務手続き、各種証明書発給、進路相談カウンセラー補助、隊員データの管理及び作成、民間連携ボランティア制度推進セミナーの実施、現職参加希望者の相談受付及び対応、現

職参加者及び所属先への聞き取り調査等

(3) 2016-2017 年度国際協力レポーター運営事務局業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ODA の理解促進を目的とした学生・社会人の参加型モニター事業の運営

実施国 : ガーナ

契約 : 2016 年～2017 年 (2 年間)

概要 : 募集広報及び各研修の企画・運営・実施、現地研修の行程管理及び引率、報告書作成の企画・運営・実施

参加 : 書類審査と抽選による 10 名 (学生、公務員、団体職員等)、藤澤職員、佐々木職員

研修 : 事前研修 = 9 月 16 日 (土) ～17 日 (日) / JICA 東京

海外派遣 = 10 月 21 日 (土) ～29 日 (日) / ガーナ (引率 : 佐々木職員)

事後研修 = 11 月 25 日 (土) / JICA 市ヶ谷

**【総務活動】**

1) 各種会議の運営

(1) 第 42 回通常総会

開催日 : 5 月 24 日 (水) 15 : 00～20 : 00

場所 : 東京グリーンパレス

【プログラム】

第 1 部 通常総会 15 : 00～16 : 30 (総勢約 70 名)

第 2 部 講演会「日本と世界のかげ橋になる」 16 : 50～18 : 10 (総勢約 100 名)

第 3 部 交流会 18 : 30～20 : 00 (総勢約 110 名)

(2) 理事会

年 3 回の開催

第 1 回	第 2 回	第 3 回
5 月 9 日 (火) 15 : 00～17 : 00 於 日本青年館	12 月 6 日 (水) 15 : 00～17 : 00 於 日本青年館	2018 年 3 月 14 日 (水) 17 : 00～19 : 00 於 日本青年館

(3) 常任理事会

原則として隔月開催

5 月期	7 月期	9 月期
5 月 29 日 (火) 15 : 00～17 : 00 於 日本青年館	7 月 28 日 (金) 15 : 00～17 : 00 於 日本青年館	9 月 19 日 (火) 15 : 00～17 : 00 於 日本青年館
11 月期	2 月期	3 月期 (臨時)
11 月 24 日 (金) 15 : 00～17 : 00 於 日本青年館	2018 年 2 月 21 日 (水) 17 : 00～19 : 00 於 日本青年館	2018 年 3 月 9 日 (金) 18 : 00～19 : 30 於 山の上ホテル



#### (4) 顧問・参与会議

原則として年2回程度開催（9月、12月）

##### ①第1回

日時：9月19日（火）17:00～18:30

場所：日本青年館

##### ②第2回

日時：12月6日（水）17:30～19:00

場所：日本青年館

#### (5) 支援委員会

原則として年度初めに1回開催、以後はMLにて実施

##### ①第1回

日時：6月27日（火）10:00～12:00

場所：育てる会事務局

## 2) 各種会合の開催及び参加

### (1) 「新春の集い」

主催：一般社団法人協力隊を育てる会

日時：2018年1月25日（木）16:00～20:00

場所：日本青年館

概要：帰国隊員によるシンポジウムと交流会

第1部 シンポジウム「超高齢化社会を迎えた今、『高齢者介護』における帰国隊員の取り組み」16:00～18:00（総勢100名参加）

第2部 交流会18:30～20:00（総勢100名参加）

### (2) 故末次一郎先生17回忌法要の集い

主催：元末次一郎事務所職員有志

日時：7月9日（日）15:00～18:00

場所：龍善寺

参加：山本美香（JICA 青年海外協力隊事務局長）、黒河内顧問、足立顧問、山本副会長、吹浦参与、森高参与、大石事務局長（総勢約130名）

### (3) 第11回後藤新平賞授賞式

主催：後藤新平の会事務局

日時：7月16日（日）11:00～12:00（授賞式）／13:00～16:00（シンポジウム）

場所：アルカディア市ヶ谷

参加：上田みどり（広島県青年海外協力隊を育てる会会長）、大島顧問、足立顧問、鳥澤理事、小川参与、横尾参与、大石事務局長（授賞式50名／シンポジウム200名）

### (4) 連合定期大会レセプション

主催：日本労働組合総連合会

日 時 : 10月5日(木) 13:00~

場 所 : 帝国ホテル

参 加 : 大石事務局長

(5) JICA ボランティアを支援するいわての会会長・故藤井克己氏葬儀

日 時 : 9月19日(火) 11:00~

場 所 : 駒木葬祭・北山浄光会館

参 加 : 足立顧問

(6) 2017年度 JICA 慰霊式

主 催 : 独立行政法人国際協力機構

日 時 : 10月3日(火) 13:00~15:15

場 所 : 旧 JICA 広尾センター、JICA 市ヶ谷

参 加 : 黒河内顧問、足立顧問、高橋参与、大久保参与、松岡常任理事、奥永常任理事、土井理事、大石事務局長、伊藤次長、JICA、JOCA 関係者等(総勢 20名)

(7) 第 13 回 JICA 理事長表彰受賞を祝う会

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

日 時 : 10月3日(火) 18:30~20:00

場 所 : JICA 市ヶ谷

参 加 : 杉下理事、青年海外協力隊とちぎ応援団、愛知県青年海外協力隊を支援する会等の受賞者、育てる会役職員、JICA、JOCA 関係者等(総勢 46名)

(8) 元進路相談カウンセラー故熊野秀一氏(フィリピン/養蚕/1966-3)葬儀

日 時 : 11月3日(金) 10:30~

場 所 : 八王子斎場

参 加 : 奥永常任理事

(9) 山本保博先生・後藤新平賞受賞祝賀会

主 催 : 後藤新平賞受賞祝賀会事務局

日 時 : 11月18日(土) 18:00~21:00

場 所 : 帝国ホテル

参 加 : 山本美香(JICA 青年海外協力隊事務局長)、足立顧問、小川参与、奥永常任理事、大石事務局長、伊藤次長(総勢 100名)

(10) 藤井克己先生のお別れ会

主 催 : 国立大学法人岩手大学

日 時 : 12月16日(土) 10:30~

場 所 : ホテルメトロポリタン盛岡

参 加 : 奥永常任理事

(11) 連合 2018 新年交歓会

主 催 : 日本労働組合総連合会  
日 時 : 2018年1月5日(金) 16:00~  
場 所 : ホテルラングウッド  
参 加 : 足立顧問

(12) 青少年団体新年互例会

主 催 : 日本青年団協議会  
日 時 : 2018年1月11日(木) 17:30~19:30  
場 所 : 日本青年館  
参 加 : 熊野職員(総勢 200名)

(13) 国際ソロプチミスト東京-山の手「小さなハートプロジェクト」支援目録贈呈式

主 催 : 国際ソロプチミスト東京-山の手  
日 時 : 2018年1月16日(火) 10:30~14:00  
場 所 : ヒルトン東京  
参 加 : 野沢陽子(国際ソロプチミスト東京-山の手会長)、足立顧問、熊野職員

(14) 全国電力関連産業労働組合総連合「小さなハートプロジェクト」支援目録贈呈式

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会  
日 時 : 2018年1月22日(月) 13:00~14:00  
場 所 : 育てる会事務局  
参 加 : 木村健一(電力総連会長代理)、松岡常任理事、大石事務局長、熊野職員

(15) 第34回アフリカ救援節食ディナー

主 催 : 足利市ボランティア協会、社会福祉法人足利市社会福祉協議会  
日 時 : 2018年3月10日(土) 18:30~20:00  
場 所 : 足利市民会館  
参 加 : 熊野職員(総勢 260名)  
概 要 : 協力隊及び「小さなハートプロジェクト」の事業説明、支援案件の実施報告等

3) 公的資格の継続取得

(1) プライバシーマークの更新審査

日 時 : 8月28日(月)  
認 定 : 12月13日(水) / 更新6回目

4) 事務局移転

移転時期: 2019年3月までに現住所から移転予定

5) 派遣隊員へのガイダンス

訓練中の協力隊員に対し、派遣中を主とした育てる会活動のガイダンスを行うとともに個人情報の提供を依頼した。

隊次	訓練所	実施日	担当者
2017年度1次隊	駒ヶ根	4月13日(木)	熊野職員
	二本松	4月17日(月)	藤澤職員
2017年度2次隊	駒ヶ根	7月25日(火)	熊野職員
	二本松	7月17日(月・祝)	奥永常任理事
2017年度3次隊	駒ヶ根	10月18日(水)	熊野職員
	二本松	10月23日(月)	奥永常任理事
2017年度4次隊	駒ヶ根	2018年1月15日(月)	熊野職員
	二本松	2018年1月19日(金)	藤澤職員

## 6) 帰国隊員へのオリエンテーション

帰国した協力隊員に対し、育てる会活動のオリエンテーションを行うとともに個人情報の提供を依頼した。

隊次	実施日	担当者
2015年度 1次隊	帰国ピーク時期：6月29日(木)～7月10日(月) その他：随時	奥永常任理事、大石事務局長、 内島・熊野・佐々木・藤澤職員
2015年度 2次隊	帰国ピーク時期：9月28日(木)～10月13日(金) その他：随時	大石事務局長、内島・熊野・ 佐々木・藤澤職員
2015年度 3次隊	帰国ピーク時期：2018年1月5日(金)～18日(木) その他：随時	大石事務局長、内島・熊野・ 佐々木・藤澤職員
2015年度 4次隊	帰国ピーク時期：2018年3月22日(木)～29日(木) その他：随時	奥永常任理事、大石事務局長、 内島・熊野・佐々木・藤澤職員

## 7) 人事

### (1)新規採用

佐々木惟(4月20日付 事務局)

### (2)退職

清水彩香(4月30日付 事務局)

富岡加奈子(9月16日付 事務局)

横山直子(2018年3月31日付 クロスロード編集室)

以上

【2017 年度事業報告附属明細書について】

2017 年度事業報告における、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」に規定する附属明細書「事業内容を補足する重要な事項」については、前述の事業報告内に含まれているため別途作成はいたしません。

## 2018 年度事業計画

(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)

今年度は、青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア事業（以下、協力隊事業）の変革の年であり、「協力隊の応援団」である私たちも新たな発想を持って活動を展開していかなくてはなりません。

- 「知る」 途上国のことを、日本の国際協力のことを、そして協力隊事業を
- 「創る」 誰もが、いつでも、どこでも、どんな形でも参画できる国際協力の輪を
- 「応援する」 途上国での経験を活かし、社会に貢献する帰国隊員を

私たちが各地域でこれまで続けてきた活動は、時代の変革の中でも普遍的なものであり、世代を超えて続けていくことが使命だと考えます。私たちは、協力隊事業とは次世代を担う若者にとって「人生の価値を高める活動」であると考え、参加する青年たちがいる限り、全国の育てる会組織と手を携え、実施機関である JICA とパートナーシップを組み合わせながら、国民運動として「知る」「創る」「応援する」活動を展開してまいります。

### 【スローガン】

「協力隊は日本の宝、育てて活かす平和の種まき」

### 【基本方針】

1. 青年海外協力隊をはじめとする JICA ボランティア事業（以下、協力隊事業）への支援を通じて、世界から信頼される日本と平和で豊かな社会を実現する人材を育成する。
2. 協力隊に参加しやすい社会環境を目指して、全国の育てる会組織の皆様と共に活動する。
3. 協力隊の活動を通じて得た隊員たちの経験が日本の地域社会の活性化に活かされるよう、帰国隊員と自治体、経済団体、市民団体等との橋渡しとなる役割を果たす。

### 【重点活動】

1. 一人でも多くの青年が協力隊事業に参加し充実した活動ができるよう、全国の育てる会組織と連携し、現職参加促進と派遣中隊員支援の更なる充実化を図る。
2. 各種団体との連携を更に強化し、地域における協力隊事業の応募や理解促進だけでなく、就職・社会的起業・社会活動等の分野において帰国隊員の経験を活かす機会の創出を図る。
3. 共生社会の形成に向けた異文化相互理解の大切さを広く伝えるため、帰国隊員による体験発表の場を数多く創出し、協力隊事業の理解促進を図る。
4. 帰国隊員による協力隊経験を生かした社会貢献の姿を集約・分析・データ化する取り組みを進めるとともに、関係者間で共有できるネットワークの構築を図る。
5. 次世代を担う人材の育成に教員が果たす役割を重視し、一人でも多くの教員が協力隊事業への関心を高めて参加できるよう、また帰国後は帰国隊員の経験が教育現場に活かせるよう環境整備を図る。
6. 帰国隊員支援や協力隊事業の理解促進、次世代の協力隊育成に繋がる業務等を通して財政基盤の継続的な安定を図る。

## 協力隊を育てる会の使命

青年海外協力隊をはじめとする国際ボランティア（以下「協力隊等」という。）事業に市民の立場から参加しやすい社会環境を創り、次世代を担う人材の創出及び育成を図るとともに、協力隊等が得た経験を共有することで多様な価値観を尊重する平和で豊かな社会を築き、国際社会と地域社会の発展に寄与する。

## 重点活動

応募促進と  
派遣中支援の  
充実化

各種団体  
との連携

体験発表機会  
の創出

社会貢献事例  
の収集と分析

教員参加と  
帰国後採用  
の推進

財政基盤  
の安定化

### 理解促進事業

各種イベントの  
開催

「視察の旅」、ス  
タディツアー企画

カレンダーの  
制作・販売

カタログギフトの  
販売

帰国隊員の  
進路支援

他団体との連携

### 助成事業

小さなハート  
プロジェクト

帰国隊員/青年  
支援プロジェクト

馬場医療・福祉  
奨学金

地域の育てる会  
活動助成

### 広報事業

育てる会ニュー  
スの編集発行

web・SNSによ  
る情報発信

### 総務活動

各種会議・交流会  
等の開催

事務局移転準備

派遣隊員向け  
ガイダンス等

### 受託事業

「クロスロー  
ド」編集・発行  
業務

帰国後事務手続  
き現職参加促進  
業務

協力隊支援・次  
世代育成関連業  
務

## 2018 年度事業計画

### 【重点事業】

#### 1. 応募促進と派遣中支援の充実化

---

1) 協力隊事業の変革に伴う政府はじめ関係機関への要望書提出

実 施 : 6月初旬より

2) 全国育てる会との情報共有

実 施 : 通年

3) 応募促進

実 施 : 通年

4) 派遣中支援

実 施 : 通年

5) 派遣中隊員に対する支援情報等の共有

実 施 : 通年

媒 体 : 訓練所オリエンテーション、SNS、育てる会ニュース等

#### 2. 各種団体との連携

---

1) 各種イベント等への参加

(1) 2019 年度京都会議

主 催 : 公益社団法人日本青年会議所

実 施 : 2019 年 1 月

場 所 : 京都国際会館

概 要 : ブース出展、セミナー参加等

(2) 各地域での定例会

主 催 : 各地青年会議所、ライオンズクラブ、商工会議所、経営者協会等

実 施 : 通年

場 所 : 全国が対象

概 要 : ブース出展、セミナー参加等

2) 各地域の組織と帰国隊員との連携構築

(1) 情報共有およびネットワーク構築

実 施 : 通年

場 所 : 全国が対象



## (2) モデル事業の立案

実 施 : 通年

場 所 : 全国が対象

### 3. 体験発表機会の創出（報告会の開催）

---

#### 1) 各団体への働きかけ

##### (1) 各定例会等における帰国隊員の活動報告会

①主 催 : 都内ライオンズクラブメンバー

日 時 : 5月21日(月) 18:30~

場 所 : 主婦会館

概 要 : 障がい者支援に取り組む帰国隊員の活動紹介

講 師 : 徳島泰(フィリピン/デザイン/2012-1)

#### 2) 自主企画

##### (1) 通常総会講演会

日 時 : 5月30日(水) 16:00~

場 所 : 日本青年館

概 要 : 帰国隊員による社会還元を紹介

講 師 : 白石光代(青い空の会代表、グアテマラ/花卉栽培/1999-1)、佐藤千歳(岡崎市保健所職員、モンザンビーク/臨床検査技師/2005-1)

##### (2) 会員・家族交流会「楽しく知る。ファンになる。JICA ボランティア FUN FAN 交流会」

①日 時 : 6月24日(日) 10:00~

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル

②日 時 : 9~10月

場 所 : 都内

③日 時 : 2019年3月

場 所 : 都内

#### 3) 全国育てる会主催による開催支援

実 施 : 通年

場 所 : 全国が対象

概 要 : 開催団体や帰国隊員の紹介及び広報協力

### 4. 社会貢献事例の収集と分析

---

#### 1) 「日本も元気にする青年海外協力隊 OB 会」や育てる会等による関連行事等への参加と情報収集

実 施 : 通年

場 所 : 全国が対象

2) 帰国隊員ネットワークと全国育てる会との意見交換と情報・課題の共有

実 施 : 通年

場 所 : 全国が対象

3) クロスロード編集室による調査・研究および分析活動への協力

実 施 : 通年

## 5. 教員参加と帰国後採用の促進

---

1) 全国育てる会やOB会等による関連行事への参加と情報収集

実 施 : 通年

場 所 : 全国が対象

概 要 : 参加希望者やOBOGのニーズや課題の把握と支援策の検討

2) 帰国隊員や教育分野の有識者・関係者との意見交換と情報の共有

実 施 : 通年

3) 各教育委員会、関係団体に対する参加促進および帰国後採用の協力要請

実 施 : 通年

## 6. 財政基盤の安定化

---

1) 帰国隊員支援や協力隊事業の理解促進、次世代の協力隊育成に繋がる業務等、育てる会の専門性と独自性を活かせる業務の受託

(1) 2018～2019年度 JICA ボランティア帰国情報／事務管理・現職参加促進支援業務

公 示 : 5月頃

(2) 2018～2019年度 JICA ボランティアに対する情報支援ツール「クロスロード」編集・発行業務

公 示 : 夏頃

(3) その他

公 示 : 随時

## 【理解促進事業】

---

1) 各種イベントの開催

国際理解や人材育成、経験の社会還元等、協力隊事業を広く市民に周知する場として、帰国隊員の活動報告会をはじめとするイベントを開催する。

(1) 家族交流会

実 施 : 年 3 回

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者

(2) 帰国報告会

実 施 : 重点活動として年 3~4 回

対 象 : 隊員家族ならびに協力隊参加希望者、社会貢献団体、企業・団体関係者等

(3) 開発教育全国集会

実 施 : 全国育てる会の主催事業に対し広報等にて協力

対 象 : 一般、社会貢献団体、企業団体関係者等

2) 「視察の旅」の企画・実施

隊員家族や関係者等を中心に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに、支援の輪を広げる機会として企画・実施する。

企 画 : アフリカ・中南米等、実施可能な隊員派遣国 (20 ヶ国程度)

実 施 : 8 月以降

3) スタディツアーの企画・実施協力

一般市民を対象に、現地の活動視察を通じて協力隊事業の理解者を増やすとともに支援の輪を広げる機会として企画・実施の協力を行う。

(1) スタディツアーの企画

実 施 : 2018 年度内

場 所 : アフリカ地域

対 象 : 全国の育てる会関係者・支援者、一般の参加希望者

(2) 全国育てる会企画への協力

①主 催 : 愛知県青年海外協力隊を支援する会

実 施 : 2019 年 2 月頃

場 所 : ミャンマー

対 象 : 全国の育てる会関係者・支援者、一般の参加希望者

備 考 : 愛知県支援する会 40 周年記念事業として実施

4) 「持続する情熱」等、協力隊関連書籍の拡販

記念誌「持続する情熱」をはじめ協力隊に関する書籍の普及を目指し、支援者を発掘し教育機関や図書館等への寄贈活動を展開する。

(1) 「持続する情熱」(ダイジェスト版)

体 裁 : A4 判/180 ページ/フルカラー

(2) 「持続する情熱」(完全保存版)

体 裁 : A4 判/416 ページ/フルカラー

(3) 「青年海外協力隊の軌跡と展望～世界を翔ける日本青年の素顔～」

体 裁 : 新書判/232 ページ/モノクロ

5) 育てる会カレンダーの制作・販売

派遣中隊員及び帰国隊員から提供される写真を使用し、途上国や協力隊事業の理解促進、全国の育てる会活動の広報ツール、企業のSDGs ツールとして制作・販売する。

テーマ : 「WA」(和、輪、環、話、羽、我、わ!)

仕 様 : A4 横/フルカラー/14 枚綴り(28P) /オリジナル名入れ・メッセージ印字

制作数 : 12,000 部

制 作 : 5 月～8 月

販 売 : 9 月中旬(予定)

備 考 : 宅配便の料金変更等に伴い価格改訂

6) カタログギフト「GLOBAL SPROUT」の販売

OBOG が関わる商品の情報をまとめ、Web 等の広報媒体にて紹介するとともにカタログギフトとして販売する。

ブランド : 「GLOBAL SPROUT」(グローバルスプラウト)

概 要 : 帰国隊員が生産する食品・雑貨・化粧品等のカタログギフト販売

備 考 : 宅配便の料金変更等に伴い価格改訂

7) 帰国隊員の進路支援

就職や転職、進学、結婚等、帰国隊員の様々なニーズに対して、彼らの経験や持ち味が活かせる人生プランをアドバイスするとともに進路開拓の支援を行う。

(1) 婚活イベントの開催

日 時 : 5 月 19 日(土) 14:00～17:30

場 所 : 高田馬場グランドボウル

参 加 : 帰国隊員、当会会員等の未婚者、藤澤職員、内島職員

会 費 : 4,500 円(会員 3,500 円)

8) 他団体との連携

協力隊事業と育てる会活動の理解促進を目的に、他団体の実施する各種イベント名地に参加し帰国隊員が生産する雑貨等の販売を行う。

(1) 協力隊まつり 2018

主 催 : 協力隊まつり実行員会

日 時 : 4 月 21 日(土)～22 日(日) 10:00～17:00

場 所 : JICA 市ヶ谷ビル

概 要 : 帰国隊員が生産する雑貨、書籍の販売

備考：社団の参加は22日（日）のみ

参加：藤澤職員、内島職員、熊野職員

(2) 第89回メーデー中央大会

主催：第89回メーデー中央実行委員会

実施：4月28日（土）10：00～14：30

概要：帰国隊員が生産する雑貨、書籍の販売

場所：代々木公園

参加：大石事務局長、内島職員

(3) グローバルフェスタ 2018

主催：グローバルフェスタ実行委員会

実施：9月29日（土）～30日（日）

概要：カレンダー、帰国隊員が生産する雑貨等の販売

場所：未定

(4) SEISA Asia Africa Bridge

主催：公益財団法人世界こども財団

実施：11月10日（土）～11日（日）

概要：カレンダー、帰国隊員が生産する雑貨等の販売

場所：星槎中学高等学校

## 【助成事業】

---

1) 小さなハートプロジェクト

協力隊員が本来の業務以外に企画するプロジェクトに対して支援金を募り、活動を支援する。プロジェクト支援によって、途上国の人々の生活向上に寄与するだけでなく、協力隊を通して支援者と途上国の人々との繋がりを強め、国際協力に対する気運を高める。

支援金額：1件につき上限 300,000 円

支援件数：8件程度

募集期間：通年

審査：審査員により随時実施

2) 帰国隊員／青年支援プロジェクト

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団の支援を基に、帰国隊員の国際協力活動及び調査研究活動を支援する。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：2,700,000 円

募集期間：7月1日（日）～8月31日（金）

審査選考：選考委員会にて10月頃実施

### 3) 馬場医療・福祉奨学金

医療・福祉分野への就学・就職を希望する帰国隊員を対象とし、返済義務を付した奨学金を給付し支援する。

支援金額：1件につき上限 500,000 円

支援総額：1,000,000 円

募集期間：7月1日（日）～8月31日（金）

審査選考：帰国隊員／青年支援プロジェクトの審査選考と併せて実施

### 4) 地域の育てる会活動助成

地域の育てる会が実施する協力隊事業の理解促進をはじめとする諸活動に対して、助成金を給付する。

支援金額：調整中

給付時期：未定

対象事業：以下の3事業

- ①協力隊に参加し易く、その経験を地域に活かす社会環境整備活動
- ②協力隊事業の理解促進のための広報啓発活動
- ③「協力隊の応援団」を地域で増やす支援者拡充活動

## 【広報事業】

---

### 1) 「協力隊を育てる会ニュース」の発行

全国育てる会と会員、派遣中の協力隊員、帰国隊員、法人団体等の支援者とを結ぶ“育てる会活動の情報ツール”として、育てる会活動や帰国隊員の取り組み、協力隊事業の動向等を紹介する。

発行数：約 7,000 部／毎月

仕様：モノクロ／タブロイド版／4 ページ

構成：1面～最新トピックス

2面～全国育てる会や地域の支援者の活動紹介

3面～派遣中隊員、帰国隊員向けの支援情報

4面～各種インフォメーション

### 2) Web や SNS による情報提供

一般から隊員家族、派遣中隊員、帰国隊員まで、協力隊事業ならびに育てる会活動を広く周知するため、Web や SNS を活用した広報を更に充実させるとともに以下の情報等を発信する。

- (1) 全国育てる会活動の最新トピックスや各種イベント情報（告知および報告等）の提供
- (2) 帰国隊員が関わる事業や商品情報の提供
- (3) 各種支援情報の提供

### 3) メーリングリストによる情報提供

帰国間もない隊員を中心に、育てる会活動を広く周知しネットワークを構築するため、以下の情報等を発信する。

- (1) カレンダー写真の募集
- (2) 帰国報告会の講師、「視察の旅」引率者の募集
- (3) 各種支援事業の告知
- (4) 各県組織からの情報提供
- (5) 会員団体からの情報提供

### 4) 隊員活動の広報支援

関係団体の広報媒体と帰国隊員を繋ぎ、協力隊事業の理解促進を目的としたレポートを発信する。

#### (1) FEC NEWS

発行元 : 民間外交推進協会

発行 : 月1回

内容 : 帰国隊員による現地の活動や生活、参加を通じて得られたこと等についての寄稿

## 【受託事業】

---

### 1) JICA 受託事業

当会の独自性と長年培ってきたノウハウを活かし、効率的かつ効果的に業務遂行するとともに、契約再受託に向けた諸準備を進める。

#### (1) 2018～2019 年度 JICA ボランティアに対する情報支援ツール「クロスロード」編集・発行業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : ボランティア向け実践ガイドの編集発行

公示 : 夏頃

#### (2) 2018～2019 年度 JICA ボランティア帰国情報／事務管理・現職参加促進支援業務

委託元 : 独立行政法人国際協力機構

業務 : 各種証明書発行やデータ整備等の事務手続き、現職参加の促進・調査・相談等

公示 : 5月頃

### 2) 新規受託事業

各種研修事業のノウハウ、帰国隊員ならびに全国育てる会のネットワーク等、育てる会の専門性を活かし、帰国隊員支援や協力隊事業の理解促進、次世代の協力隊育成に繋がる業務の入札を適宜チャレンジし新規受託を目指す。

## 【総務活動】

---

### 1) 各種会議の運営

一般社団法人としての確な組織運営ならびに事業活動の推進を目的として、役員会等の各種会議を開催する。

(1) 第43回通常総会

開催日 : 5月30日(水) 14:00~20:00

場 所 : 日本青年館

【プログラム】

第1部 通常総会 14:00~15:45

第2部 講演会 16:00~18:00

「持続す情熱－協力隊 OBOG が語る還元のカタチ－」

講師：白石光代（青い空の会代表、グアテマラ／花卉栽培／1999-1）

佐藤千歳（岡崎市保健所職員、モンザンビーク／臨床検査技師／2005-1）

「日本外交における青年海外協力隊の意義」

講師：五百旗頭真（公立大学法人兵庫県立大学理事長）

第3部 交流会 18:30~20:00

(2) 理事会

年3回の開催（5月、12月、3月）

第1回	第2回	第3回
5月9日(水) 15:00~17:00 於 日本青年館	日時・場所未定	日時・場所未定

(3) 常任理事会

原則として隔月開催

(4) タスクチーム

主要タスクに対応するため、役員によるタスクチームを組織し適宜対応する

(5) 顧問・参与会議

原則として年2回程度開催（6月、12月）

2) 各種交流会等の開催及び参加

(1) 「新春の集い」

主 催 : 一般社団法人協力隊を育てる会

日 時 : 2019年1月

場 所 : 都内

(2) その他、各種表彰・叙勲等のお祝い会

開 催 : 適宜

場 所 : 都内

(3) 「協力隊の日を祝う会」

日 時 : 4月20日(金) 14:00~

場 所 : 旧 JICA 広尾センター「友よやすらかに」慰霊碑前



参 加 : 宮崎顧問、足立顧問、奥永常任理事、大石事務局長 (総勢 50 名)

3) 事務局移転の準備

実 施 : 夏以降

移転先 : 都内

4) 派遣隊員へのガイダンス

訓練中の協力隊員をはじめとする JICA ボランティアに対し、派遣中を主とした育てる会活動のガイダンスを行うとともに個人情報の提供を依頼する。

時 期 : 4月、7月、10月、2019年1月

場 所 : 駒ヶ根、二本松の両訓練所

概 要 : 育てる会活動の説明及び個人情報の収集

隊次	訓練所	実施日	担当者
2018年度1次隊	駒ヶ根	4月16日(月)	熊野職員
	二本松	4月25日(水)	藤澤職員
2018年度2次隊	駒ヶ根	7月16日(月祝)	未定
	二本松	未定	未定
2018年度3次隊	駒ヶ根	未定	未定
	二本松	未定	未定
2018年度4次隊	駒ヶ根	未定	未定
	二本松	未定	未定

5) 帰国隊員へのオリエンテーション

帰国した協力隊員をはじめとするボランティアに対し、育てる会活動のオリエンテーションを行うとともに個人情報の提供を依頼する。

時 期 : 6月、9月、1月、3月

場 所 : 都内

概 要 : 育てる会活動の説明ならびにメールアドレス等の収集

以上

## 2018 年度収支予算書

(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)

(単位:円)

	科 目	2017予算額 (A)	2018予算 (B)	増減 (B)-(A)	備考
	事業活動収入				
1	基本財産運用収入	2,500	1,000	△ 1,500	定期預金
2	入会金収入	20,000	190,000	170,000	テルモ入会
3	会費収入	5,800,000	5,350,000	△ 450,000	
4	研修会費収入	2,860,000	4,900,000	2,040,000	視察の旅
5	広告料収入	3,000,000	3,000,000	0	育てる会ニュース
6	手数料収入	9,080,000	5,110,000	△ 3,970,000	会員発送代行、記念誌
7	カレンダー販売収入	5,000,000	5,500,000	500,000	
8	帰国隊員等支援受託収入	19,566,000	24,566,000	5,000,000	
9	クロス編集業務等受託収入	61,100,000	61,100,000	0	
10	クロス会員差込	632,400	830,000	197,600	
11	その他受託収入	13,000,000		△ 13,000,000	(レポーター)
12	助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	三菱UFJ国際財団
13	寄付金収入	2,800,000	2,150,000	△ 650,000	小さなハート等
14	グローバルプラウト	1,800,000	1,500,000	△ 300,000	
15	雑収入	230,000	247,000	17,000	
	経常収益合計	127,890,900	117,444,000	△ 10,446,900	
	事業活動支出				
16	給与手当	39,446,000	40,161,000	715,000	職員9名
17	退職掛金	1,020,000	1,020,000	0	
18	福利厚生費	6,026,000	6,236,000	210,000	社会保険等
19	旅費交通費	8,431,000	3,865,000	△ 4,566,000	
20	通信運搬費	9,178,900	7,151,000	△ 2,027,900	クロス発送
21	会議費	1,155,000	540,200	△ 614,800	
22	修繕費	1,526,000	1,267,000	△ 259,000	コピー、PCメンテナンス
23	印刷製本費	18,625,000	17,802,000	△ 823,000	クロス、カレンダー等
24	賃借料	6,470,000	6,454,000	△ 16,000	家賃、OA機器
25	光熱水費	600,000	620,000	20,000	
26	保険料	45,000	770,000	725,000	視察の旅、火災保険
27	諸謝金	2,185,000	1,590,000	△ 595,000	クロス原稿等
28	消耗品費	450,000	400,000	△ 50,000	
29	租税公課	4,805,000	3,997,000	△ 808,000	消費税
30	減価償却費		39,000	39,000	
31	仕入高		529,200	529,200	記念誌
32	支払負担金	4,415,800	3,001,800	△ 1,414,000	派遣、社労士、税理士等
33	支払助成金	8,100,000	7,700,000	△ 400,000	ハート、OB支援、各県助成、
34	委託費	8,863,000	8,333,000	△ 530,000	クロステザイン等
35	雑費	6,549,200	5,967,800	△ 581,400	グローバルプラウト等
	経常費用合計	127,890,900	117,444,000	△ 10,446,900	
	事業活動収支差額	0	0	0	

一般社団法人 協力隊を育てる会

## 第 43 回通常総会

### 議案書

- |         |   |
|---------|---|
| 第 1 号議案 | 2017 年度決算承認の件<br>公益目的支出計画実施報告書<br>監事監査報告書 |
| 第 2 号議案 | 東日本大震災「小さなハート基金」に関する件                     |
| 第 3 号議案 | 外務大臣等への要望書に関する件                           |
| 第 4 号議案 | 役員に関する件                                   |

日 時 : 2018 年 5 月 30 日 (水)

会 場 : 日本青年館

第 1 号議案 2017 年度決算承認の件

# 決 算 報 告 書

(第 5 期)

自 2017 年 4 月 1 日

至 2018 年 3 月 31 日

## 正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	1,487	3,538	△2,051
基本財産受取利息	1,487	3,538	△2,051
受取入金会金	102,800	24,000	78,800
受取入金会金	102,800	24,000	78,800
受取会費	10,622,383	14,756,340	△4,133,957
正会員受取会費	5,147,000	5,210,416	△63,416
研修会受取会費	5,475,383	9,545,924	△4,070,541
事業収益	112,210,756	113,756,088	△1,545,332
広告料収入	3,348,000	4,741,200	△1,393,200
手数料収入	7,331,249	6,851,741	479,508
カレンダー等販売収入	5,149,737	5,310,650	△160,913
帰国隊員等支援受託収入	21,463,988	19,566,428	1,897,560
クロス編集業務受託収入	61,155,843	61,130,875	24,968
クロス差込収益	831,633	863,984	△32,351
GLOBAL SPROUT	1,273,606	1,915,786	△642,180
その他受託収入	11,656,700	13,375,424	△1,718,724
受取補助金等	3,000,000	3,000,000	0
受取民間助成金	3,000,000	3,000,000	0
受取寄付金	2,013,216	3,596,844	△1,583,628
受取寄付金	2,013,216	3,596,844	△1,583,628
雑収益	361,060	1,893,868	△1,532,808
受取利息	88	142	△54
雑収益	360,972	1,226,286	△865,314
受取贈益	0	667,440	△667,440
經常収益計	128,311,702	137,030,678	△8,718,976
經常費用			
事業費	111,962,590	125,531,140	△13,568,550
給料手当	35,893,593	39,648,136	△3,754,543
退職共済掛金	828,000	949,500	△121,500
福利厚生費	5,463,874	6,013,270	△549,396
旅費交通費	7,906,845	12,908,065	△5,001,220
通信費	7,479,334	8,068,374	△589,040
会議費	938,436	733,055	205,381
修繕費	917,880	852,127	65,753
印刷製本費	18,776,471	19,755,176	△978,705
仕入高料	1,438,452	2,216,916	△778,464
光熱水料	320,515	305,413	15,102
賃借料	2,599,901	2,630,323	△30,422
保険料	435,147	362,021	73,126
諸謝金	2,564,802	2,356,454	208,348
租税公課	4,428,200	4,008,504	419,696
支払負担金	292,107	8,640	283,467
支払助成金	6,836,437	8,627,177	△1,790,740
委託費	8,518,070	8,753,549	△235,479
雑費	6,324,526	7,334,440	△1,009,914
管 理 費	16,383,398	18,028,226	△1,644,828
給料手当	4,861,612	6,203,039	△1,341,427
退職共済掛金	192,000	225,500	△33,500
福利厚生費	740,055	940,790	△200,735
会議費	68,040	508,350	△440,310
旅費交通費	188,893	345,308	△156,415

## 正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
通 信 運 搬 費	705,739	670,436	35,303
減 価 償 却 費	23,990	39,984	△15,994
消 耗 品 費	475,683	441,715	33,968
修 繕 繕 費	510,937	610,747	△99,810
印 刷 製 本 費	234,152	256,602	△22,450
光 熱 水 料 費	320,515	305,413	15,102
賃 借 借 料	3,758,116	3,842,160	△84,044
保 険 料	17,020	53,687	△36,667
諸 謝 金	10,000	0	10,000
租 税 公 課	11,500	76,000	△64,500
支 払 負 担 金	3,485,089	2,849,526	635,563
支 払 寄 付 金	0	30,000	△30,000
雑 費 計	780,057	628,969	151,088
経 常 費 用 計	128,345,988	143,559,366	△15,213,378
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	△34,286	△6,528,688	6,494,402
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△34,286	△6,528,688	6,494,402
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税 引 前 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△34,286	△6,528,688	6,494,402
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	70,000	70,000	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△104,286	△6,598,688	6,494,402
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	51,147,781	57,746,469	△6,598,688
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	51,043,495	51,147,781	△104,286
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	51,043,495	51,147,781	△104,286

## 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	3,437,663	2,392,411	1,045,252
未 収 会 費	80,000	75,000	5,000
未 収 金 品	28,140,741	27,578,356	562,385
貯 蔵 品	77,163	78,753	△1,590
商 品	1,557,144	3,175,524	△1,618,380
流 動 資 産 合 計	33,292,711	33,300,044	△7,333
固 定 資 産			
基 本 財 産			
定 期 預 金	20,000,000	20,000,000	0
基 本 財 産 合 計	20,000,000	20,000,000	0
特 定 資 産			
奨 学 貸 付 引 当 資 産	5,211,948	5,167,948	44,000
特 定 資 産 合 計	5,211,948	5,167,948	44,000
そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	95,962	119,952	△23,990
敷 金	806,000	806,000	0
奨 学 貸 付 金	2,788,052	2,832,052	△44,000
そ の 他 固 定 資 産 合 計	3,690,014	3,758,004	△67,990
固 定 資 産 合 計	28,901,962	28,925,952	△23,990
資 産 合 計	62,194,673	62,225,996	△31,323
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	6,556,524	6,682,134	△125,610
前 受 金	1,189,400	1,206,200	△16,800
預 り 金	904,754	983,281	△78,527
未 払 消 費 税 等	2,430,500	2,136,600	293,900
未 払 法 人 税 等	70,000	70,000	0
流 動 負 債 合 計	11,151,178	11,078,215	72,963
負 債 合 計	11,151,178	11,078,215	72,963
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	51,043,495	51,147,781	△104,286
正 味 財 産 合 計	51,043,495	51,147,781	△104,286
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	62,194,673	62,225,996	△31,323

## 財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会  
事業名：事業全体

### 1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法によっている。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
奨学貸付引当資産	5,167,948	544,000	500,000	5,211,948
合 計	25,167,948	544,000	500,000	25,211,948

### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	367,500	271,538	95,962
合 計	367,500	271,538	95,962

### 4. その他

(1) 表示方法の変更



## 附属明細書

法人名：一般社団法人協力隊を育てる会  
事業名：事業全体

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産	奨学貸付引当資産	5,167,948	544,000	500,000	5,211,948

## 公益目的支出計画実施報告書

### 【2017年度（2017/4/1から2018/3/31まで）の概要】

1. 公益目的財産額	81,720,787円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額（（1）＋（2）－（3））	55,788,037円
（1）前事業年度末日の公益目的収支差額	44,694,972円
（2）当該事業年度の公益目的支出の額	16,056,553円
（3）当該事業年度の実施事業収入の額	4,963,488円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	25,932,750円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由	

### 【公益目的支出計画の状況】



公益目的支出計画の	(1) 計画上の完了見込み	2023年3月31日
完了予定事業年度の末日	(2) (1) より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円	81,720,787円
公益目的収支差額	33,086,216円	44,694,972円	41,357,770円	55,788,037円	49,629,324円
公益目的支出の額	16,881,554円	16,884,305円	16,881,554円	16,056,553円	16,881,554円
実施事業収入の額	8,610,000円	6,252,185円	8,610,000円	4,963,488円	8,610,000円
公益目的財産残額	48,634,571円	37,025,815円	40,363,017円	25,932,750円	32,091,463円

2018年4月26日

## 監査報告書

一般社団法人 協力隊を育てる会  
代表理事 山本 保博 殿

監事 白山 肇   
監事 中村 義人 

私たち監事は、第5期事業年度（2017年4月1日から2018年3月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表）、附属明細書、公益目的支出計画実施報告書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定め、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧、調査し、必要に応じて当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、また随時説明を求め監査を実施いたしました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しているものと認めます。

以上

## 第 2 号議案

東日本大震災「小さなハート基金」事業（実施事業等会計）終了に関する件

理由 被災地にて復興支援を行う帰国隊員の活動に対し、迅速かつ柔軟、広範に対応することを目的に、3年間の時限的な公益目的事業として2011年度より開始。要請に応じて2年延長したが、近年では活動費を給付する直接支援よりも、情報提供や他団体同士を繋ぐ「橋渡し役」的な間接支援が中心となっている。当初計画した実施期間が終了し、ニーズの変化もあることから、時限的な公益目的事業としては目的を達成したため、今年度をもって終了とする。尚、復興支援に対する間接支援は、今後も引き続き実施していく。

第 3 号議案

外務大臣等への要望書に関する件

一般社団法人協力隊を育てる会役員（案）

（2018-2019年度）

理事		明石 要一	千葉大学名誉教授、千葉敬愛短期大学学長
理事		岩田 公雄	ジャーナリスト、学習院大学特別客員教授
理事		奥永眞智子	前一般社団法人協力隊を育てる会事務局長
理事		神崎 清一	公益財団法人日本YMCA同盟総主事・代表理事
理事		澤田 澄子	公益社団法人企業メセナ協議会常務理事兼事務局長
理事		重 政子	NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議代表理事
理事		杉下 恒夫	一般財団法人国際開発機構理事長
理事		土井 章	一般社団法人日本防災プラットフォーム事務局長
理事		鳥澤 文彦	日本青年団協議会事務局長
理事		松岡 和久	公益財団法人CIESF副理事長
理事		水野 秀一	公益社団法人日本青年会議所事務局アドバイザー
理事		山本 信也	一般財団法人日本青年館常務理事
理事		山本 保博	医療法人伯鳳会東京曳舟病院院長
理事		山根木晴久	日本労働組合総連合会総合組織局総合局長
監事	新任	福瀧 健一	千葉県海外協力隊を育てる会理事
監事		中村 義人	公認会計士、放送大学客員教授